

# 名古屋市指定水道工事店協同組合青年部会

## 水源地交流事業

### 木祖村を訪ねて植樹と河川の清掃

**担当役員** 伊藤 裕康  
**実施日** 平成19年5月27日（日）  
**参加者** 60名（青年部会員、名古屋市上下水道局一般公募の市民）





5月27日に開催した水源地交流事業について報告します。恒例となったこの事業では、今年度は名古屋市が水利権を持つ木曽川の上流「木祖村」を訪問し、植樹活動等を実施しました。

名古屋市上下水道局一般公募の市民の皆さん、私ども名水協青年部会会員、そして名水協の親組合の理事が集まり、バスにて現地を訪問。現地では、木祖村村長様、副村長様の出迎えをうけ、木曽川の水源地域に住む人々と下流地域に住む人々が共になって、どんぐりの植樹、河川の清掃活動などを行い、有意義な時間を過ごすことができました。

同じ流域に暮らす者同士が一緒になって行動することで、お互いの暮らしや考え方の理解を深めること。そして、小さなことかもしれませんが、植樹や河川の清掃活動をすることで、水源地域の森づくりの一助になったことと思います。

この事業を実施するようになったのは、全管連青年部協議会、あるいは、名古屋市上下水道局の事業があったのがそのきっかけではありますが、毎年開催して参加し続けることで、意義をより深く理解できるようになり、今では今後も継続していきたい事業の一つとなっております。

